

# 令和8年度 標茶町立中茶安別中学校 学力向上計画

## 1 生徒の実態

【令和7年度 標茶町標準学力調査より】

教科 観点	国語			社会			数学			理科			英語		
	知	思	主	知	思	主	知	思	主	知	思	主	知	思	主
中学1年生(新中学2年生)	▼	▼	▼	△	△	△	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	△	▼
中学2年生(新中学3年生)	△	△	△	△	△	△	▼	▼	▼	△	△	△	△	△	△

△：目標値を上回っている  
△：目標値と同程度  
▼：目標値を下回っている

中学1年生(新中学2年生)

国語	△ 文学的な文章の読み取り文章がよくできており、表現方法に注意し、登場人物の心情をよく理解している。 ▼ 小学校で学習した漢字が書けていない。／伝えたいことが、わかりやすいように、条件に従って書くことができていない。
社会	△ 教科書の記述内容を、広く、基礎知識として定着させている。 ▼ 複数の資料を見比べ、考察する場合、資料のデータを読み取り比べる力が弱い。
数学	△ 高い理解を示す生徒もいるが、一方で困り感を持っている生徒もいる。 ▼ 困り感を持っている生徒については、数学全般に苦手意識を持っている。
理科	△ 水溶液の性質、及び植物の特徴は比較的良好に理解できている。 ▼ 教科として目標値を下回っているが、思考・判断・表現よりも知識・技能の方が目標値との差が大きくなっている。
英語	△ 疑問詞や人称代名詞を正しく用いて英文を書くことができています。 ▼ 対話の概要を聞き取り適切な応答ができない。(リスニング)／be動詞の疑問文の理解が弱い。

中学2年生(新中学3年生)

国語	△ 発表内容を聞き取る問題がよくできており、正確に聞き取り、話し手が伝えたいことを非常によく理解している。 ▼ 書くことについては、伝えたいことが、わかりやすいように、条件に従って書くことができていない。
社会	△ 教科書の記述内容を、広く、基礎知識として定着させている。 ▼ グラフを中心に、資料を読み取る力が弱い。／個々の歴史事象を「流れ」として大まかに掴む力が弱い。
数学	△ 計算分野(文字計算・連立方程式)では正当数が高く、知識・技能が定着している。 ▼ 関数領域での評価が低く出ている。式・表・グラフの関係を理解できていない。
理科	△ 基礎的な知識・技能は身に付いている。特に化学反応についてはよく理解できている。 ▼ 気象の観察については理解が不十分である。また、実験結果を分析することに課題が見られる。
英語	△ リスニングはほぼ正確に聞き取ることができる。／さまざまな英文や長文を、正しく読み取ることができる。 ▼ 英文を聞き、その要点を捉えて、自分の考えを英文で答えることができない。／場面に応じた疑問文(助動詞等)

## 2 目標

【標茶町標準学力調査】

全学年・全教科の各観点の正答率を、目標値と同程度以上とする。特に、教科全体として目標値を下回っている教科については、まず「知識・技能」の観点や基礎の問題、目標値を上回っている、または同程度の教科については、「思考・判断・表現」の観点や活用・記述の問題の正答率向上を目指す。

【全国学力・学習状況調査】

正答率の低かった問題について把握・分析し、授業改善を図り、正答率の向上を目指す。

## 3 改善方法

授業	・各教科における基礎基本の確実な定着 ・研究主題『主体的に学び続ける子どもの育成』を意識した授業づくり ・『読解力の向上』を意識した授業づくり ・ICTの効果的な活用(デジタル教科書、スマイルドリル、ロイロノート、Googleクラスルーム…など)
授業以外	・標茶町標準学力調査の結果分析 ・チャレンジテスト(サポート問題含む)の活用 ・『家庭学習の手引き』や計画表の活用を通じた家庭学習の充実
連携 (研修,小学校,家庭)	・『家庭学習9ヶ月計画』に基づいた取り組み ・小中9年間を見通した校内研修の取り組み

## 4 実施計画

月	授業	授業以外	連携(研修,小学校,家庭)
4		・計画的な家庭学習の取り組み開始(通年) ・チャレンジT(前年度問題・サポート問題) ・必要に応じた学習支援(通年) ・朝読書(通年)	・授業参観,保護者懇談会 ・『家庭学習9ヶ月計画』の配付・説明 ・『家庭学習の手引き』の配付・説明
5			・全体研修(授業づくりにおける共通理解)
6	・1人1授業(～12月末)		・学校サポートプラン
7		・チャレンジT(1学期末問題・サポート問題) ・夏季休業中の学習会	・授業参観,保護者懇談会
8		・全国学力・学習状況調査の結果分析 ・学力向上計画の見直し①	・校内授業研①事前研
9			
10	・校内授業研①		・校内授業研①事後研 ・校内授業研②事前研
11	・校内授業研②		・校内授業②事後研
12		・チャレンジT(2学期末問題・サポート問題) ・標茶町標準学力調査 ・冬季休業中の学習会	・授業参観,保護者懇談会
1			・全体研修(研究主題・仮説の検証)
2		・標茶町標準学力調査の結果分析 ・学力向上計画の見直し②	・授業参観,保護者懇談会 ・全体研修(今年度の振り返り,成果と課題) ・標茶町標準学力調査の結果分析の保護者配付
3	・授業改善計画		

## 5 評価方法

- 全国学力・学習状況調査の結果を受け、成果とその理由を分析して、課題を改善する授業を構築し、次年度の目標を設定して評価する。
- 標茶町標準学力調査後に評価を行い、実施状況や課題と解決策を探る。